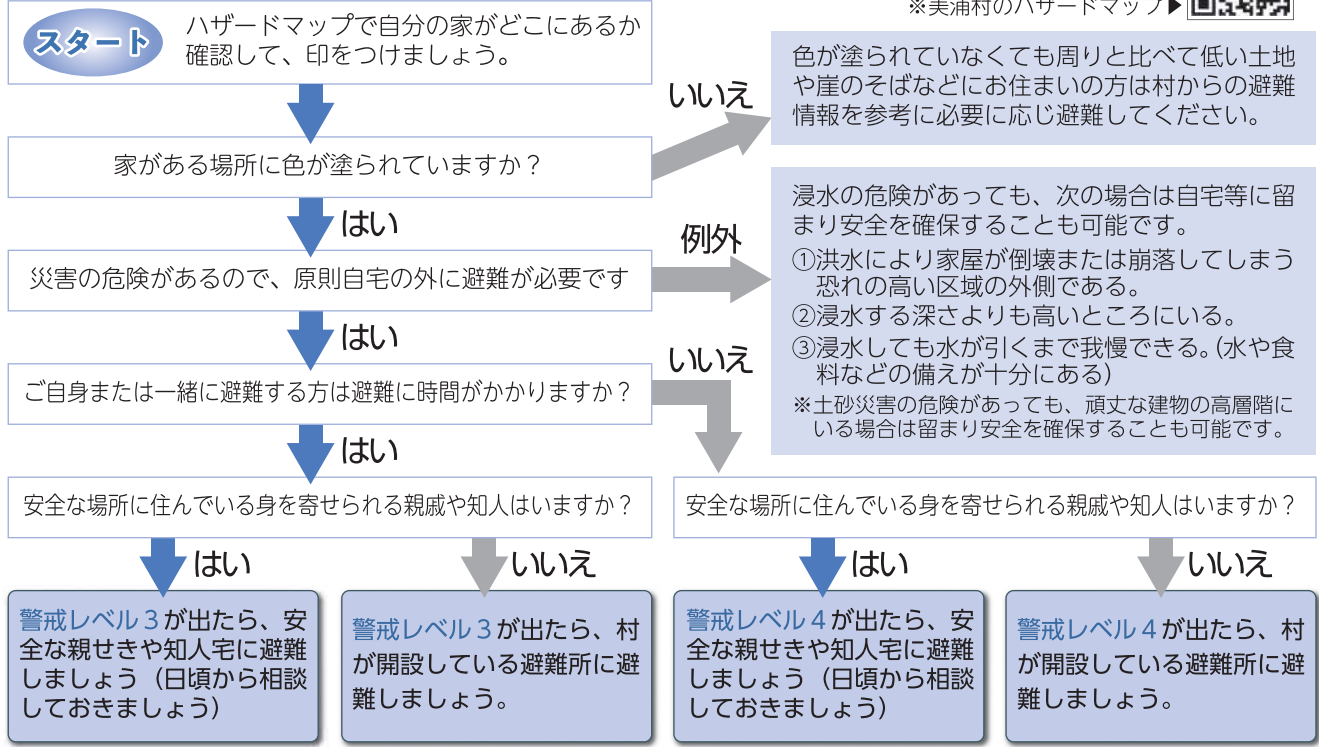


### 感染症が流行している場合でも 災害時には、危険な場所にいる人は避難することが原則です！

- ▶避難とは「難」を「避」けることです。安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。
- ▶避難先は、村が指定する避難場所、避難所ではありません。安全な親戚や知人宅に避難することも考えてみましょう。
- ▶マスク・消毒液・体温計が不足しています。できるだけ自ら持参してください。
- ▶村が指定する避難場所、避難所が変更・増設されている可能性があります。災害時にはホームページなどで確認してください。
- ▶豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。やむを得ず車中泊をする場合は、浸水しないよう周囲の状況などを十分確認してください。

### あなたが取るべき避難行動は？

ハザードマップとは、浸水や土砂災害が発生する恐れの高い区域を着色した地図です。



### マイ・タイムライン (作成例)

時間	避難情報・防災気象情報	自分の行動
3日前	台風予報	今後の台風の進路等を確認し、避難時の携行品を準備(マスクや消毒液も準備)、家族の今後の予定を確認、ホームページ等で状況確認
～	大雨洪水注意報	
半日前		
5時間前	氾濫警戒情報 避難判断水位情報	体温を測定 早めの避難準備
3時間前	氾濫危険情報 氾濫危険水位情報	マスクを着用して 避難所へ避難完了
災害発生	氾濫発生情報	

※国土交通省ではWeb上でできる「マイ・タイムライン」等も紹介しています▶



### ▼マイ・タイムラインを作る

マイ・タイムラインとは、水害に備えた自分自身の行動計画表です。台風の接近などで、川の水位が上昇する時に自分自身が取る防災行動をあらかじめ時系列に整理し、作っておくことでいざというときの避難に役立ちます。



▲持ち出し品のチェックリストはコチラをご覧ください。(首相官邸ホームページ)

非常持ち出し品はひとまとめにし、いつでもすぐに持ち出せるよう、目に付く所に備えましょう。また、定期的に食品の消費期限のチェックを行うことも大切です。また、避難所での感染症に備えるため、マスクや消毒液・体温計・上履き(スリッパ)といった感染対策に役立つものも準備しておきましょう。

### ▼非常持ち出し品の準備

### すぐにできる備え



■問合せ 総務課  
☎029-885-0340 (内) 204

# 災害と感染症に備えましょう

近年、日本各地でさまざまな水害が発生しています。昨年5月の台風が日本に上陸し、その中でも9月から10月に本村を通過した複数の台風によって、甚大な被害をもたらされたことは記憶に新しいところです。水害などを含む自然災害が発生した際の避難所では、3密が起りやすく、新型コロナウイルスをはじめとする感染症の拡大が心配されます。そこで、災害時の心構えや避難所での感染症に備えるためのポイントをご紹介します。

### 日頃の備えが大切です

台風などによる水害は、気象や河川の情報などにより洪水や土砂災害の危険性を事前に把握することができ、事前に確認し、早い段階で適切に避難することができれば、自身や家族の身を守ることに繋がります。

### 逃げ遅れないために！

日頃からどのタイミングでどのように避難するかを決めておくことが重要です。警戒レベルは5段階に分けられ、それぞれの段階で皆さんが取るべき行動が示されています。「自らの命は自らが守る」意識を持ち、適切な避難行動を取りましょう。

### ◎避難情報等

警戒レベル	避難行動等	避難情報等
警戒レベル5	既に災害が発生しています。命を守る最善の行動をとりましょう。	災害発生情報※1
警戒レベル4 全員避難	速やかに安全な場所へ避難しましょう。	避難勧告 避難指示(緊急) ※2
警戒レベル3 高齢者等は避難	避難に時間を要する人(ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児等)とその支援者は避難をしましょう。その他の人は避難をする準備を整えましょう。	避難準備・ 高齢者等避難開始
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報 大雨注意報等 【気象庁が発表】

### ◎防災気象情報

警戒レベル相当情報例
警戒レベル5相当 氾濫発生情報、 大雨特別警戒等
警戒レベル4相当 氾濫危険情報、 土砂災害警戒情報等
警戒レベル3相当 氾濫警戒情報、 洪水警戒等
氾濫警戒情報、 洪水警戒等

※1災害が実際に発生していることを把握した場合に可能な範囲で発令。  
※2地域の状況に応じて緊急または重ねて避難を促す場合などに発令。